

江別市生涯学習推進協議会

会長 谷川 幸雄

日頃、本協議会に対し深いご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

去る5月17日(金)、野幌公民館で開催した総会において、活動方針、活動計画、予算などが承認されました。また、第1回理事会6月6日(木)、第2回理事会6月24日(月)と開催し、具体的な実践内容について審議を行ったところであります。

今年度の重点目標として、「やりがいと生きがいのまち」「自助・公助・共助の調和のとれたまち」「孤独・孤立者を作らない共生のまち」「教え合い・学び合いの中から学びの輪を広めていくまち」のようなまちづくりに努めて参りたいと考えております。

また、今年役員改選の年でもあり、私をはじめ別記の通り総会において承認されましたので、ご支援とご協力の程お願い申し上げます。

一方、本協議会が発足して、平成27年で満20周年を迎えることとなります。先代の会長、役員、理事そして会員の皆さん、発足当初から教育委員会の支援のもとに、やりがいと生きがいのあるまちづくりを目指して、今日まで改善を加え20年の歴史を刻んできた先輩諸氏に敬意と感謝の意を表し、20周年記念事業を企画したいと考えております。その節



は、皆さんのご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

加えて、長寿社会を迎え、すべての人々が人生100年時代を見据え、自らの持つ知識や経験を社会に還元しつつ、互いに支え合いながら共生する絆ある社会を構築していくことが「幸福社会」の未来を拓くこととなります。

新役員

- 【会長】 谷川 幸雄
北翔大学・学校法人浅井学園
- 【副会長】 澤口 智規
江別生涯学習インストラクターの会
- 【監事】 松山 和子
おはなしなあに

【理事】

- 奥谷 浩一 札幌学院大学
- 中村 律子 江別まっことええ&北海道情報大学
- 立石 静夫 NPO法人江別市文化協会
- 高木 玲子 子ども文化ネットワーク・江別
- 佐藤ひとみ 3B体操江別サークル
- 加藤 節子 江別認知症の人の家族を支える会
- 江畑 稔 江別家庭生活カウンセラーグループ
- 鈴木真由美 えべつ手話の会
- 阿部 実 江別市自治会連絡協議会
- 鈴木 智枝 江別市女性団体協議会
- 西懸 昭子 江別消費者協会
- 洞野 博文 江別市子ども会育成連絡協議会
- 伊藤 洋子 江別市食生活改善協議会
- 古川 淳子 NPO法人えべつ協働ネットワーク
- 梶野 雅裕 野幌商店街振興組合
- 【監事】 安藤 良司 一般財団法人江別市スポーツ振興財団
- 浦島 忠勝 江別生涯学習インストラクターの会

広報委員会
 よろしくお願ひします

広報委員長 西懸 昭子
 今年度から新しく3名のメンバーが入り替わり新体制で委員会がスタートいたしました。当協議会加盟67団体の皆さんの日々様々な活動の様子が「ら・ら・ら」を通じて伝えられたら、またそれを見た沢山の方々に賛同していただけるような誌面が作れたらと考えています。

最近HPの利用も多いと聞いております。そちらは澤口副会長が奮闘して下さい、誰でもいつでも閲覧して、必要な情報を利用してもらえるよう更なる内容の充実を図っていきたく思っています。

「やりがいと生きがいのある暮らしを目指した生涯学習活動」を推進する当協議会の方針通り、皆様の情報発信の場になりますよう努力していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願ひします。



江別認知症の人の 家族を支える会

副会長 加藤 節子

認知症の人を介護されているご家族には大きな負担が生じます。その支えにと私達はお手伝いをしております。その一部を紹介いたします。

1 やすらいぎ支援

ご家庭を訪問し認知症の方のお話し相手と見守りを行います。その間、ご家族の方にやさしいで戴くのが目的です。他の人と話すことは認知症の方にとって、とても良い刺激になり、症状が落ち着いてくると云われていきます。

私達も最初はどのような接し方をすればよいか不安も有りますが、訪問を重ねる毎に気持ちも通じ合います。家族の方にはとても喜ばれております。

2 家族の集い

茶話会、交流会、新年会、ミステリーツアー等、年に6回開催しています。

包括支援センター、専門職の方の参加も得て家族の方にいろいろとアドバイスをして頂きます。一人で悩まずに仲間と気軽に話し合いや相談が出来

明日からの介護の力を得るとても良い「集い」だと思います。

私たちは各個人の性格や趣味等に相對できる様に常に研鑽し楽しく穏やかにと心がけています。ご近所でお困りの方がいらっしゃいましたら、声を掛け合い、当会にもお知らせいただけましたら幸いです。



こんにちは
「池坊いけばな
はまなす会」

代表 笹原 邦子

この会は、今年発足60年を迎えます。

60年と言う時間を、それぞれの時代背景を写しながら江別市を拠点に活動してきました。

発足当時は、江別駅前周辺在住だった企業家や商家の婦女子方、または会社の福利厚生としての活動などが主で有りました。

現在、「はまなす会」の指導者は初代笹原和子から2代笹原邦子

への引継ぎが始まり、発足当初の賑わいはありませんが、確実な技術と「いけばな」の心を伝え、「花を楽しむ」ことで得られる「心の豊かさ」と「命を考える団体」となっています。

江別市文化協会に所属活動し、また、江別市教育委員会が開催する子供対象の「土曜広場」に於いては、「いけばな」の型を指導するのではなく、(植物も人間や動物と等しく、それぞれに見合った「命」を持つていて)事を中心に据えた活動を行って11年が過ぎました。

初心者から高職位の会員までが、季節の花々と共に各自の生活環境や時間に合わせた稽古の中で楽しい活動を続けています。

現在の最高齢は92歳。豊饒として稽古に励み、一同の目標となりながらも初心の方々にアドバイスをし、「はまなす会」の発表会では「土曜広場」の子供達の作品を手伝う「会」の要的存在です。

指導者の笹原和子と笹原邦子は、京都池坊本部との密な連携により「池坊中央研修学院」への研修に希望者を送り出し、現代生活に於けるいけばなの習得に前向きな努力を惜しまず、自らも京都へ向いております。

基本的に、「はまなす会」では、江別市文化協会の発表会、所属支部の行事、池坊家元主催行事などに参加し、更に3年に1度「はまなす会」の作品発表を行っていただきます。今年「笹原社中創立60周

年」の年に当たり、野幌公民館ギャラリーに於いての作品発表会を9月14～15日に予定しています。「小水尺樹をもって江山数程の勝概をあらはし」と、言われるいけばなの世界で、私達と四季折々の花を楽しみませんか？



江別生涯学習インストラクターの会 「街歩き～野幌の町並みから学ぶもの」

日時／9月28日(土)9時30分～

場所／野幌一円

成人後見人制度に学ぶ「始めの一步」

日時／11月8日(金)18時30分～20時30分

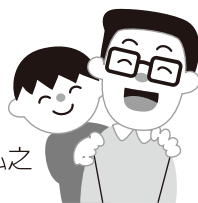
講師／NPO法人さいわい後見人センター 副理事 森田 弘之

場所／野幌公民館(仮)

子育て支援「親子で遊ぼう」

日時／2014年1月25日(土)10時30分～12時

場所／野幌公民館(仮)



札幌学院大学 心理臨床センター

市民講座「こころの健康」 テーマ「宮沢賢治と東北のこころ」

講義：「宮沢賢治の人生とこころ」 講師：安岡 誉

「グスコブドリの伝記について」 講師：村澤 和多里

対談：「宮沢賢治と東北のこころ」 安岡 誉・村澤 和多里

日時／10月26日(土)13時～16時

場所／市民会館37号室

大麻スポーツ振興会

「大麻スポーツフェスタ」

スポーツクラブと子供や高齢者が楽しく過ごせるスポーツイベント

日時／10月6日(日)10時～15時

場所／大麻体育館



江別市生涯学習講座
江別市生涯学習推進協議会加盟団体研修会

当協議会では、「地域活動におけるリーダーの在り方」をテーマにした加盟団体研修会を開催します。やりがい生きがいのある地域づくりや、流動化社会におけるリーダーの養成について考えます。

生涯学習リレー講座「長寿社会と地域のきずな」

当協議会では、「長寿社会と地域のきずな」をテーマに、専門の講師を招き全3回にわたり講座を開催します。長寿社会を背景とした地域との関わり方や生き方を考えます。

「人と人のつながり」を大事にした地域コミュニティをつくっていくか

【第3回】

9月6日(金)「長寿社会の今を生きる」
講師：江別市自治会連絡協議会副会長
野幌地区自治会連絡協議会会長
阿部 実

内容：長寿社会の現状や課題、あるべき姿に
ついて

○時 間：18時30分～20時

○会 場：大麻公民館 研修室2号

○定 員：100名(先着順受付)

○受 講 料：無料

○主 催：江別市生涯学習推進協議会

○申込み方法：事務局(教育委員会生涯学習課)までお申込みください。

【第1回】

8月23日(金)「長寿社会と男女共同参画」
講師：北海道立女性プラザ館長
笹谷 春美

内容：高齢になっても、誰もが住み慣れた地域で豊かに暮らせるような男女

の共同参画のありかたについて

【第2回】

8月30日(金)「長寿社会に備えた町づくり」
講師：沼田町長 金平 嘉則

内容：人口減少の中で、いかに地域での

これからのイベント

◆子ども文化ネットワーク・江別

こねっとおはなし会

絵本の読み聞かせ、工作他

日時／8月17日(土)10時30分～11時30分

9月21日(土)10時30分～11時30分

場所／旧町村農場

◆江別演劇鑑賞会 創立25周年記念ポスター展

1988年から上演された公演のポスター他、台本、色紙、パンフレットを展示

日時／8月20日(火)～25日(日)

場所／野幌公民館

◆江別市スポーツ少年団

第33回野球大会

日時／9月～11月

場所／はやぶさ運動広場

第33回バスケットボール大会

日時／9月7日(土)～8日(日)

場所／市民体育館

第33回卓球大会

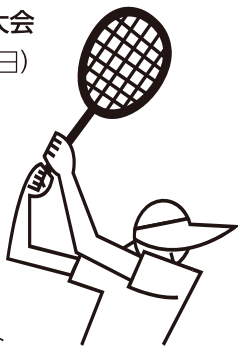
日時／9月14日(土)

場所／大麻体育館

第30回ソフトテニス大会

日時／9月14日(土)

場所／飛鳥山テニスコート



◆江別認知症の人の家族を支える会

認知症の人と共にくらす町作り研修会

日時／9月28日(土)

場所／野幌公民館

◆江別消費者協会

「2013 消費者のひろば

～おとなから子どもへ伝える消費者教育～」

南極料理人 西村 淳氏 講演会

日時／9月14日(土)

13時30分～15時30分

場所／市民会館小ホール

200名先着順

※10時～12時の部は子供だけの参加です。

◆池坊いけばなはまなす会

「創立60周年花展

～伝える心、受ける手のひら～」

日時／9月14日(土)10時～17時

15日(日)10時～16時

場所／野幌公民館ギャラリー



平成25年度

総務委員会の活動について

総務委員長 阿部 実

平成25年度の総務委員会はメンバー入れ替えもあり、新たな体制でスタート致しました。

【事業計画の概要】

(1) 加盟団体研修会
「地域活動における

リーダーの在り方」

やりがい、生きがいのある地域づくりや、流動化社会におけるリーダーの養成について考えます。

(2) リレー講座

「長寿社会と地域のきずな」

長寿社会を背景として地域との関わり方や生き方、地域が抱える課題への取り組み方などを考えます。

詳細はリレー講座の記事を参照してください。

今後の活動については、各委員会と連携を取りながら、会員皆様や各団体と協力し、多くの市民の方に親しまれる様に努力して行きたいと思っております。今後とも宜しくご協力のほどお願い致します。



平成25年度

事業委員会事業について

事業委員長 立石 静夫

生涯学習事業を推進していく中で多種多様な加盟団体による形のある統一的な事業を検討することは難しい時代になってきたように思います。

地域の活動団体や人々が生活情報を得る為に様々な会合(会議)等に参加してきましたが、良くも悪くも溢れる程の情報社会となり、漠然とした形での会議や活動が増え、更に交流事業等の場に興味をもたない人も増えて来たと感じます。

そのようなことから今年の事業委員会は、例年の事業を進める中で今世代の人、次世代の人が生活をしていく為の生涯学習とはどのような形が理想的なのかを会員として再認識していただくと考えていますので、ご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。



土佐市との 友好都市提携35周年

土佐市は、昭和54年1月に市制施行20周年を迎えることを記念して、友好都市構想を打ち出しました。

友好都市提携先を選定するにあたって、①ともに製紙業が盛んなこと、②市制発足当時の人口が同規模(3万人台)だったこと、③南と北の対照的な位置にあることを勘案して、江別市を候補市として考え、昭和52年11月に土佐市から江別市へ、北と南の衛星都市(土佐市と高知市、江別市と札幌市の関係)で交流をしたいとの提案がありました。昭和53年に江別市では開基100周年記念事業を予定していたこともあり、土佐



市との友好都市提携を行うことを決め、昭和53年7月15日、友好都市提携の調印を行いました。

今年、友好都市提携35周年を迎えることから、両市でそれぞれ記念の交流事業が開催されます。江別市では、土佐市から贈られた大綱を引き合う「大綱まつり」に、土佐市から訪問団が来る予定で、江別市民との交流を楽しみにしています。また、10月には土佐市の名産品販売会も行われます。この機会に、土佐市の文化に触れ、名産品を味わってみてください。

【江別市での交流事業】

◎江別地区市民まつり「第31回土佐大綱まつり」
8月2日(金)19時
江別市コミュニティセンター前

◎土佐市うまいもん物産展
10月26日(土)～27日(日)
トンデンファームさん

【土佐市の名産品紹介】

◎農産物
土佐文旦(とさぶんだん)、小夏、スイカ、新高梨(にいたかなし)などの果物のほか、ピーマン、シヨウガなど

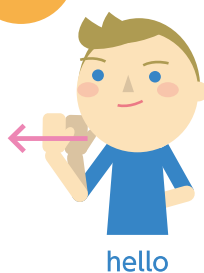
◎海産物

土佐市宇佐町は昔からカツオ漁が盛んなところで、土佐節発祥の地となっています。その他、うるめも絶品です。

◎工芸品

伝統工芸品の「土佐和紙」、盛籠の生産日本を誇る「土佐竹細工」など土佐では昔から良質の竹が採れたことから、竹細工が盛んに行われてきました。

What? アメリカの手話 & 日本の手話



《あしがき》

三浦雄一郎さんが、エベレスト登頂に成功しました。

御年80歳、同じ様に山を友として来た者として、只々頭の下がる思い……。

一時は瀬岩山でさえバテた位の普通の人が、よくあの高み迄身体を運んだものだと思っつてです。

赤子が成人式を迎えられる程の時間、それは第一の人生ではなく、若き日の夢の続きを、心行く迄、追い続けられる時間も……。

江畑 稔